

要 請 書

2019年7月4日

大阪市立 泉尾北小学校

校長 小田村 直昌 様

D-TaC (連絡先 090-1914-0158)

前略で失礼します。

私たちは、大阪市教育委員会による子どもたちへの「君が代」斉唱の強制に反対することを中心に活動している市民団体です。この数年、市教委（指導部）との公式の市民団体協議を重ねてきて、その議事録の最新のものは市のHPに掲載され公表もされています。不十分ながらも市教委から得た回答内容を学校現場で子どもたちに指導し保障してほしいと願い、中学校129校中の現在約110校を訪問し、校長と教職員への要請を続けてきました。

先日、泉尾北小学校のHPを見る機会があり、5月8日の「天皇即位を祝う」全校児童集会の報告記事の内容に驚きました。そして、児童集会のゲスト歌手の山口采希さんのブログには、一層詳しくその報告記事があり、それを読んで仰天しました。これは、市教委が私たち市民に回答し公表してきた子どもたちへの指導内容とは全く逆で、「大日本帝国憲法」下で現人神とされた天皇との区別も明確にしないままに「象徴天皇への祝意」と、「君が代」を子どもたちに強制するものになっています。それは、学習指導要領に基づく公立学校の学校行事としては、違法で、絶対に許されないものだと思います。

私たちはこれまで小学校には数校しか訪問できていませんが、泉尾北小学校についてはぜひ校長に直接お会いし、市教委の公表の回答内容を改めてお伝えし、考えをおききたいと思って、面談を申し込みました。何回か教頭を通じて電話連絡をしましたが、残念ですが校長は以下の理由で面談を断られています。

「 「君が代」の学習指導は、重要な教育課題の一つです。

また、あらゆる教育課題について、保護者や校区以外の市民の方とも、要望があれば面談することは校長の責務です。

しかし、現在特別の事情として、大阪市の小学校が極端な常勤講師の欠員状態で、本校も今定員1名が欠員で、学校をあげて日常の教育活動に追われていて、校長も時間が取れず、この児童集会の件は後回しにせざるを得ません。

今回の児童集会のことで何件か電話がかかってくることへの対応も重なっていて、夏休みも含めて当面今年度中はお会いできません。」

吉村前市長の維新市政のために、大阪市の必要な講師数が大量に欠員状態になっている大問題は、

私たちもちろん知っていて根本的な解決責任を求めています。しかし当面直ぐに時間がなくても、夏休みに入っても年度末まで会えないというのは不当です。「重要な教育課題の一つ」と言われている「君が代」と「天皇」の学習指導について、公立小学校の校長としての市民への説明責任を放棄されていると受け止めざるを得ません。

この異常な状態を受けて、私たちは校長の責任で最低限以下のことを実行されるように要請します。

要請内容

本来は市民と面談すべき内容について、直接の子どもへの対応を優先するために当面時間を取る目処が立たないほどの「異常事態」だと言われるのならば、少なくとも面談ができるようになるまでの当面の「危機管理」として、最小限で以下の2つのことを実行してください。

- 1、 泉尾北小HPに掲載されている5月8日全校児童集会報告記事の全文を、一旦直ちに削除してください。
(作業日程も考えて、7月9日(火)午後5:00までにはお願いします。)
- 2、 終業式、始業式、運動会、10月の「即位の礼」講話等の学校行事で、「君が代」斉唱と天皇への祝意を子どもたちに強制することを、絶対にくり返さないでください。

付記

- ・校長としての市民への説明責任を放棄されたままで、さらに重ねて上記2点も実行されない場合は、私たちは改めての抗議をせざるを得ません。
- ・面会してお渡ししたかった要請の資料を、7月2日配達記録になっている書留郵便にはとりあえず同封しましたが、受け取りを拒否されて返送されてきました。今回は同封はできませんが、「D-TaC」のHPには掲載しています。

以上です。